

「Touch the World（多文化体験コーナー）」の運用について

1 主 旨

児童・生徒が体験を通して、英語への関心を高めるとともに、区民が多様な文化に触れ、交流することができる場として、「Touch the World（多文化体験コーナー）」を運用することから、今年度の状況について報告する。

2 場 所

世田谷区弦巻3-16-8 区立教育センター2階

3 運 用

(1) 小学校4年生及び中学校特別支援学級対象の「英語体験移動教室」

①実施日 月～金曜日の午前（午前9時～正午）

②運営形態 管理運営者1名及び各ゾーンにALTを配置（6名）

③内容（約60分間の英語体験プログラム）

- ・ジオラマのプロジェクションマッピングを通して、世田谷区の特徴を英語で学習
- ・外国の絵本の英語による読み聞かせ及びインタラクティブラーニング
- ・6人程度のグループに1名のALTを配置し、日本文化を英語で紹介する学習
- ・グループ毎に、各ゾーン固有のプログラムを英語で体験

(2) 小・中学生等、区民への一般公開

①実施日 月～金曜日の午後（午後1時～午後5時）※中央図書館閉館日を除く  
長期休業日、土・日・祝日の全日（午前10時～午後5時 ※正午～午後1時を除く）

②運営形態 管理運営者1名及びALT1名が常駐し、時間を区切って英語体験プログラムを実施（月一回のイベントでは、複数のALTを配置）  
※施設の一部を利用して「外国人のための日本語教室」を開催（生活文化部国際課）

③内容（毎日、約20～60分間の英語体験プログラムを2～3回実施）

曜日ごとに、英語のレベルや活用するゾーンの設定を変えて実施

- ・ジオラマのプロジェクションマッピングを通して、世田谷区の特徴を学習
- ・小グループに分け、曜日ごとのプログラムを英語で体験
- ・月一回のイベントでは、学年等の対象を設定し、オリンピック・パラリンピックや姉妹都市等のテーマに応じた多文化体験プログラムを実施
- ・長期休業日中には、「中学生英語体験ウィーク」など、多様な対象に応じた、英語でのコミュニケーションを体験的に学ぶプログラムを実施

#### 4 今年度の改善事項

- ・長期休業日を視野に入れた海外派遣疑似体験プログラムの検討
- ・外国の絵本の動画や各ゾーンの映像・音声コンテンツ、教材・教具の拡充
- ・小・中学生等、多様な対象に向けた学習プログラムの開発
- ・ALTの配置等、運営形態の工夫・改善
- ・海外からの訪日団体との交流プログラムの関係部署と連携した取組

#### 【参考】

##### ○平成30年度実績（10月1日オープン）

|                     |          |        |
|---------------------|----------|--------|
| 小学校4年生対象の「英語体験移動教室」 | 区立小学校61校 | 6,239名 |
| 小・中学生等、区民への一般公開     | 170日間開館  | 4,823名 |

##### ○利用者の声

###### （1）小学校4年生対象の「英語体験移動教室」

- ・ジオラマに投影されるプロジェクションマッピングに惹きつけられている様子で、約8分間の映像を集中して見ている様子。
- ・読み聞かせゾーンでは、ALTと英語でフレーズを復唱したり、質問に答えたりと積極的に取り組んでいた。
- ・各ゾーンでは、小グループに分かれて、ALTと近い場所で、挨拶や日本文化の紹介、動きなどを英語で元気よく発音しながら、学習していた。
- ・終了後は、ALTとハイタッチしながら帰路につき、「もっとやりたかった。」、「他のゾーンにも行きたかった。」などの声が聞かれた。
- ・帰校後、「楽しかった。」、「また行ってみたい。」、「いろいろ知ることができて嬉しかった。」といった言葉が多く聞かれた。
- ・東京2020オリンピックに向けて、英語を覚えてふれあいたくなかったとの感想が聞かれた。

###### （2）小・中学生等、区民への一般開放

- ・ALTとコミュニケーションがとれると楽しくなる。
- ・日本の文化と英語に触れることができ良かった。
- ・マッピング映像で、世田谷区の歴史や文化が分かり、なおかつ姉妹都市との関連を知ることができ、身近に英語があふれていることを実感できた。
- ・挨拶のタッチの言語を増やしてほしい。
- ・気軽に立ち寄れる場として続いてほしい。
- ・なかなか英語に触れる機会がないので、貴重な体験だった。